第 47 回北海道中学校バドミントン大会　参加細則

1　監督は当該学校の校長・教員であること。団体戦における外部指導者（コーチ）は、当該学校の校長が認めた者とする。マネージャーは当該学校の教員または生徒とする。

2　団体戦でベンチに入れるのは、登録された監督・外部指導者（コーチ）またはマネージャー・選手（ゼッケンを付ける）のみとする。（コーチまたはマネージャーはどちらかＩ名）

3　個人戦でベンチに入れるのは、登録された監督・外部指導者（コーチ）・マネージャーのうちいずれか２名、並びに選手のみとする。ただし、シングルスの場合は練習相手として１名入場できるが、練習終了後、直ちに退場しなければならない。インターバル時は、監督・マネージャー・外部指導者（コーチ）を含めていずれか２名以内とする（団体戦も同様とする）。

4　団体戦のオーダー用紙は、試合開始３０分前にオーダー交換所に提出すること。

5　入場について、団体戦及び個人戦ともに、番号の若い方（プログラムで上に記載されている方）が主審の左側に入ること。

6　試合前の練習時間については、挨拶の後、団体戦は各マッチ前に主審の合図で同時に２分間ずつとし、番号の若い方で第１複、残りのコートで単の練習、および、試合を行う。なお、先に終わったコートで第２複の練習、および、試合を行う。個人戦については、主審の合図で同時に２分間とする。

7　団体戦は、２コートを同時に使用しての並行試合を行う。試合の勝敗は、第１複･単･第２複のうち、いずれか２ポイントを先取したチームの勝ちとする。また、進行の関係で３コート同時に進行することがある。この場合は、できる限り監督に確認の上で実施する。また、どちらかのチームが初戦の場合は第２複まで行い、それ以降は勝敗決定（２マッチ先取）後、打ち切りとします。

8　団体戦･個人戦ともに、試合のコールがされたら直接コートに集合し、主審が来てから挨拶、マッチ前練習、試合の順で行う。

9　試合進行はできるだけタイムテーブルにそって進めるが、時間短縮のため、時間・コートの変更があるので放送に注意すること。

10　個人戦において、試合が連続する場合は１０分間の間をおく。

11　競技の服装（開・閉開式を含む）は、審査合格品とする。また、必ず大会要項に記載されているとおりに指定されたゼッケンをつけ、四隅を留めることとする。

12　各ゲーム間のインターバルは１２０秒以内とする各ゲームでどちらかの選手が１１点になったときには、６０秒を越えないインターバルをとることができる。

13　審判員の判定に対して疑問があるときは、個人戦の場合は当該プレーヤー、団体戦の場合は当該プレーヤーまたは監督が質問できる。（大会運営規程第６章第３６条）

14　フラッシュでの写真撮影は禁止する。

15　試合中の水分補給は、基本的に主審が汗ふきタイムを認めたときに試合進行に影響が出ないように素早く済ませること。ただし、飲み物はスクイズボトルに入れること。

16　指定のカゴに入れて良い物は、交換用ラケット（ケースから出しておく）、タオル、スクイズボトル、滑り止めのみ。その他の物はベンチ、または、コーチングシートで保管すること。氷のうは、保冷バッグに入れてベンチ、または、コーチングシートで保管すること。（カゴには入れない）

19　フロア内での飲食やハードタイプのクーラーボックスの持ち込みは禁止します。

20　フロア内でのビデオ撮影は禁止します。

21　原則として試合に負けたチームの監督、外部指導者（コーチ）、マネージャー（教員）が主審をすることになるので、試合終了後、直ちに本部席で次の試合の審判用紙等を受け取ること。線審・得点係は開催地の生徒で行う。

22　「競技役員長（レフェリー）から競技審判上の確認と連絡」のページを熟読すること。